



ちゅうりっぷ組だより <9月号>



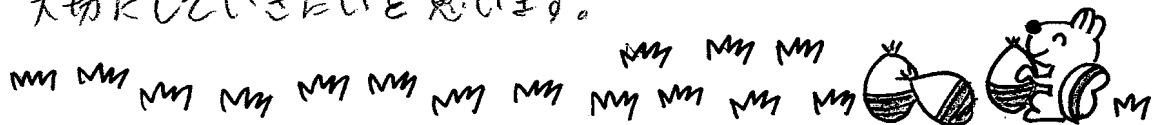
平成29年9月20日 ときわ保育園 担当: 野口

今年の夏は、暑くなったり、涼しくなったりと、気温の変化が激しく体調を崩すことが多かった子ども達。そのため、体調を考慮し、水遊びや外遊びを少し控えて、室内で過ごすようにし、遊びを工夫したり、場所を変え、いろいろな遊びをしてきました。



部屋では、初めて絵の具を使い、「とんぼ」を作ったり、ホールに行き、ボールやフープ、大きな汽車の遊具に乗ったりと、たくさん体を動かして遊びました。

又、「子育て支援の部屋」まで、ヨキヨキ歩いて行き、利用しているお子さんの顔を覗き込んだり、一緒に滑り台をすまなど遊ぼうとする姿が見られます。そして、部屋に戻る時には「バイバイ」と手を振り、保育者が「ありがとうございました」とお礼を言うと、おじぎをする子もいます。このような触れ合いも大切にしていきたいと思います。



今一番お気に入りの遊びは、ペットボトルに細長いブロックを入れたり出したりして遊ぶことです。真剣な顔で、手や指先をしっかりと使い、ブロックを入れると「ポトン」。それを振って「カラカラ」と音が出るのを喜んだり、入る度に「パカパカ」と手を叩き、「上手でしょ」とアピールする姿から、楽しんでる様子が伝わり、とても微笑ましいです。

夏の疲れが出てくる時期です。引き続き、体調の変化に考慮し、元気に外遊びや散歩を楽しめるようにしていきたいです。

